

子どもの読書活動について

学校図書館の蔵書充実と全小学校への学校司書の配置を

かじや 質問 読書に興味のない子どもたちに興味を持ってもらうため、小・中学校でどのような取り組みをしているのかお聞きます。また、家庭における読書環境の充実に向けて、保護者に対して読書の有効性をどのように説明しているのかお聞きます。

学校教育部長 答弁 読書習慣の確立に向けて、学校では朝読書やビブリオバトル等の実施、授業における並行読書や調べ学習に取り組んでいます。保護者に対しては、学力と読書の相関関係について示すなど、読書の有用性についての周知に努めています。

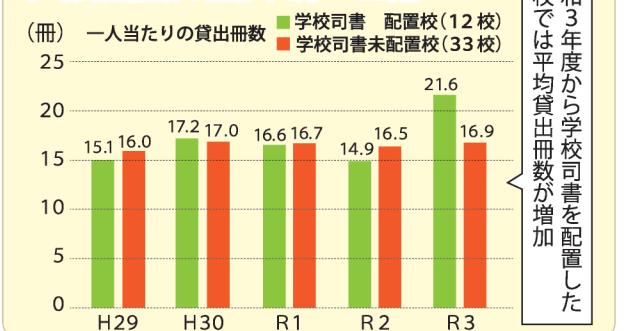
読書を「全くしない」と回答した子どもたちに比べ一定時間読書をしている子どもたちは正答率が高い傾向に

1日当たりの読書時間と正答率の相関関係(枚方市)

■2時間以上 ■30分以上、1時間より少ない ■10分より少ない
■1時間以上、2時間より少ない ■10分以上、30分より少ない ■全くしない



枚方市立小学校における学校図書館の平均貸出冊数の推移(4月～12月)



かじや 質問 たった一冊の本との出会いが、人生を大きく変えることもあります。

読書によって、学力の向上や「生きる力」を育むことにつながるといったこともありますが、やはり本を読むことで、様々な経験や知識を得ることができ、世界が大きく広がることを子どもたちに実感してもらいたいと思っています。

子どもたちが本と出合える身近な場所は学校図書館であり、数多くある蔵書の中から自分だけの一冊を見つ

総合文化芸術センター

利用者が納得して安価で利用できる対策や子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出を

総合文化芸術センターの舞台設備費や人件費などの追加経費は、以前の市民会館大ホールや旧メセナひらかた会館に比べて割高になっています。

想定していた金額よりも高額な使用料を請求されると、利用者の負担感が大きくなることから、利用者が納得して、安価で利用できるよう対策を求めていました。

読書を「全くしない」と回答した子どもたちに比べ一定時間読書をしている子どもたちは正答率が高い傾向に

経営面で打撃を受けている地元事業者への継続的な支援を提案

地域の消費を喚起し経済の活性化につながるプレミアム付き商品券の発行が実現



プレミアム付き商品券

統的な取り組みが必要となってきた。

前回のクーポン券事業の課題を整理したうえで、経営面で大きな打撃を受けている地元事業者、特に商店街をはじめとする個店の支援につながる支援策の実施を提案した結果、地域の中小店だけしか使用できない券を含めた「プレミアム付き商品券」の発行につなげることができました。

休日や身近な場所で申請できるよう商業施設等に出張窓口を

マイナンバーカードの普及促進を公民連携で

行政手続のオンライン化の実現に向けては、電子証明書を利用したオンライン上での本人確認が可能となるマイナンバーカードの普及促進が不可欠です。

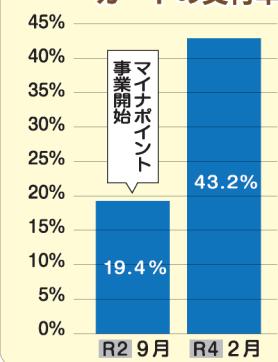
今回、国による新たなマイナポイント事業が開始されることから、今後、多くの方がカードの交付申請をされることが予測されます。

窓口の混雑を緩和するためには、休日や身近な場所で申請できる機会を増す必要となることから、商業施設などに出張申請会場を開設するよう提案しました。

また、窓口での申請をスムーズに行うために、申請会

場において専門家団体の支援を受けることや、窓口の混雑緩和や市民の利便性向上のために、各地域にある郵便局と連携するなど、公民連携によるマイナンバーカードの普及促進の取り組みについて、積極的に推進するよう提案しました。

枚方市のマイナンバーカードの交付率



かじや 質問 けいく過程は、とても貴重な経験となります。学校図書館の蔵書はまだ不足している状況です。

今後、しっかりと予算を確保し、蔵書を充実させるよう提案しました。

また、子どもの図書館利用が活性化し、貸出冊数も増加するなど、学校司書の配置には一定の効果が認められることから、子どもたちの読書活動をサポートするために、学校司書を小学校全校へ早期に配置するよう提案しました。

けいく過程は、とても貴重な経験となります。学校図書館の蔵書はまだ不足している状況です。

今後、しっかりと予算を確保し、蔵書を充実させるよう提案しました。

また、子どもの図書館利用が活性化し、貸出冊数も増加するなど、学校司書の配置には一定の効果が認められることから、子どもたちの読書活動をサポートするために、学校司書を小学校全校へ早期に配置するよう提案しました。

環境に配慮した次世代自動車(電気自動車等)



枚方市に導入されている電気自動車

付災害時の非常用電源への活用など

自動車等)のさらなる導入が不可欠です。

また、電気自動車は、環境面だけでなく、災害時において避難所での非常用電源としても活用できるなど、市の課題解決につながる様々な付加価値もあることから、休日のカーシェアリングによる財源確保策などとも併せて、積極的に導入を図るよう提案しました。

入院・入所時の身元保証

一人暮らしなどの高齢者が増加する中で、入院や施設入所時に「身元保証人」を求められるケースが多く、身元保証等を代行する民間事業者との間においてトラブルが発生し社会問題になっています。

身元保証人がいない方でも必要な医療や介護がスムーズに受けられるよう、市として関係機関と連携して積極的な支援を行うよう提案しました。

受けられるよう支援を
受けられるよう支援を
受けられるよう支援を
受けられるよう支援を

この他、右記の項目についても質問しました

▼新型コロナワクチン接種について ▼中学校の定期テストについて ▼福祉サービス利用援助事業について ▼ロジックモデル等を活用した事務事業の見直しについて ▼各種相談事業の検証及び再編について ▼市立デイサービスセンターの在り方について ▼広報プロモーション戦略について ▼学校におけるタブレット端末の適切な使い方について ▼地域包括支援センターの役割について
※質問の詳細な内容は、かじや知宏のウェブサイトに掲載しております。